

[HOME](#) > [ニュース](#) > 折板屋根に薄型太陽光パネル、耐荷重制約をクリア

折板屋根に薄型太陽光パネル、耐荷重制約をクリア

工藤宗介 = 技術ライター

2025/03/27 09:55

ティーエスピー（広島市）は3月25日、深川医療器（広島市）の屋根上2カ所に薄型の太陽光パネル「ペラペラ太陽光」を3月9日に設置し、稼働したと発表した。

太陽光パネルの合計出力は7.2kW（400W/枚×18枚）と20kW（400W/枚×18枚）の2カ所。前者は年間発電量7857kWh見込みで、全量自家消費する。後者は同2万2740kWhの見込みで、約30%を自家消費し、余剰は固定価格買取制度（FIT）に基づき売電する。FITによる買取価格は12円/kWh。折板屋根に一般的な挟み金具を用いて設置した。

深川医療器は海沿いの立地による腐食リスクや屋根の耐荷重制約などから太陽光パネルの設置が困難だった。ペラペラ太陽光の重塩害地域対応や薄型軽量などの特徴により導入が可能になったという。年間のCO2削減効果は約3.15tとなる。

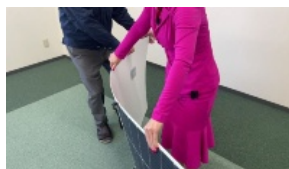
ペラペラ太陽光は、厚さ3.0mmの単結晶シリコン型太陽光パネル。曲げに強い特殊な製造技術「シングリング」を採用し、120度まで曲げられるという。一般的な太陽光パネルの約4分の1の重さで、強度の弱い建物にも設置できる可能性が高まる。今回のような挟み金具のほか、両面テープを用いた施工にも対応する。

中国で製造され、1枚あたり出力210W～520Wの製品ラインアップがある。海から50m離れた建物、5階建て以上など高さのある建物、旧耐震基準の建物にも設置できるとしている。製品保証12年、発電保証25年、施工保証20年が付帯する。2023年3月の初設置以来、国内で合計約1MWの導入実績があるという。



深川医療器の屋根上に設置した薄型太陽光パネル

（出所：ティーエスピー）
クリックすると拡大した画像が開きます



結晶シリコン型だが、薄型軽量で曲げられる

（出所：ティーエスピー）
クリックすると拡大した画像が開きます